

令和7年 飯田市教育委員会4月定例会会議録

令和7年4月9日（水） 午後 3時00分開会

【出席委員】

| | |
|----------|--------|
| 教育長 | 熊谷 邦千加 |
| 教育長職務代理者 | 北澤 正光 |
| 教育委員 | 野澤 稔弘 |
| 教育委員 | 林 綾子 |
| 教育委員 | 麦島 真理子 |

【出席職員】

| | |
|------------------|-------|
| 教育次長 | 秦野 高彦 |
| 副参事兼中央図書館長 | 瀧本 明子 |
| 教育政策課長 | 上沼 昭彦 |
| 学校教育課長 | 伊藤 寿 |
| 教育センター所長 | 北澤 孝郎 |
| 生涯学習・スポーツ課長 | 後藤 武志 |
| 文化財保護活用課長兼考古博物館長 | 下平 博行 |
| 市公民館副館長 | 小林 和弘 |
| 文化会館館長兼新文化会館整備室長 | 筒井 文彦 |
| 美術博物館副館長 | 槇村 洋介 |
| 歴史研究所副所長 | 牧内 功 |
| 教育政策課総務係長 | 北澤 五月 |

日程第1 開 会

○教育長（熊谷邦千加） 予定した時刻になりましたので、ただいまから令和7年飯田市教育委員会4月定例会を開会いたします。

これより本日の会議を開きます。

日程第2 会期の決定

○教育長（熊谷邦千加） 最初に「会期の決定」を議題といたします。

本定例会の会期につきましては、本日4月9日の1日間といたしますが、ご異議ございませんか。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） ご異議なしと認めます。

次に進みます。

日程第3 会議録署名委員の指名

○教育長（熊谷邦千加） 会議録署名委員として、野澤稔弘教育委員を指名いたします。

よろしく願いいたします。

○教育委員（野澤稔弘） はい。

○教育長（熊谷邦千加） 次の日程に進みます。

日程第4 会議録の承認

○教育長（熊谷邦千加） 3月定例会の会議録につきましてご承認をいただきたいと思えます。

あらかじめ原案を各委員さんのほうへお送りしておりますが、内容等につきまして何かご異議ございませんか。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） ご異議なしと認めます。

よって、3月定例会の会議録は承認をされました。

日程第5 教育長報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして、日程の第5に入ります。教育長報告事項でございます。

お手元にちょっと写真のついたものを置きましたが、それを御覧ください。

教育委員さん、あるいは各課館所の所長さん、課長さんたちにも行っていただきましたが、私は今回、遠山中学校の入学式のほうに出席しました。今年度から上村小学校から小中一貫で遠山中学校が小規模特認校ということになりました。そのスタートをする遠山中学校に7名の入学生が入学できました。少人数で温かい雰囲気の中で、落ち着いた入学式ができたなと感じました。新入生は、女子が6名で男子が1名ですが、新しい制服がちょっとやや大きめで、しかし表情が非常に引き締まって、返事の声とかが非常に張りがあるやうな感じが感じられ、そんな張り切る気持ちが伝わってまいりました。

ちょうどたまたま私が遠山に向かっているときに、特認校行きの新しいバスの後についていまして、これはタクシー会社の大きなバスで、そこに横に「スクールバス」って書いてあって、ピカピカのバスで、かなりゆったりとして乗れるようです。子どもたちは事前に試験的に何回か乗車をしていて、そこで聞いた感想をお聞きすると、バスが大きくなったから少し揺れは大きいということでした。今度はプロの運転手で、帰りは信南交通の定期バスで帰ってきますので、これまたプロの運転手ということで安心安全です。後をついていくと、スクールバスがふっと空き地に車を寄せて、後ろの車を先に行ってもらいなそんな配慮もされておりました。

それからもう一つ、この同日、和田小学校の入学式も行われる予定だったんですが、新入生が「やまざと親子留学」で2名来る予定なんですが、遠くからみえるということで、先週はちょっとまだ来れなかったということで、今日改めて入学式を2人の児童を迎えてやりました。

一年生ですので、可愛らしい張り切った姿でニコニコニコしながら、あちこちに興味を示していましたが、私が名前と呼んでみたらとてもいい返事を返してくれました。この初々しいやる気に満ちた姿をいつまでも続けられるように、また学校に頑張っていたいただきたいなあと、そんなことを感じた次第であります。

それから、黒田人形の奉納上演が黒田人形伝承館で、ちょうど国の選択無形民族文化財に指定されてから50周年ということで、記念講演が前段にあって、その後、人形浄瑠璃も見させていただきました。その長野県立歴史館の笹本特別館長さんの話を興味深くお聞きしました。昨年、大河ドラマに平安時代の様子が出てきましたが、「紙の人形とか木の人形に、魂を入れてみたいなそういうものがだんだんだんだん進化して行って、今は人形で楽しむっていうところまでできていて、ある意味この人形浄瑠璃とか人形劇っていうのは、人形という歴史の中では最先端なんだ」という話もあって、なるほどなあというふうにお

聞きしました。

そして、高陵中学校は、まだ黒田人形部を残していただいて頑張っていました。やはり人数と技があるので三味線は卒業した今年高校生になった皆さんたちに手伝ってもらい、太夫がまた難しいんですが、要するに歌を歌ったりとか、台詞を言ったりするというふうですので、それは元顧問が異動してしまったんですが、元顧問がやるっていうような策を取られていて、非常にみんながこの黒田人形を大事にする気持ちが伝わってきたなというふうにも感じました。

以上、私の報告事項は、今申し上げたとおりではございます。

何かご発言がありましたら。

また、もし後の報告事項のところで、入学式等の感想などありましたら、また教えていただければと思います。

ではよろしいでしょうか。

(「はい」との声あり)

○教育長（熊谷邦千加） はい。

では、次の日程に進みます。

日程第6 議案審議（6件）

○教育長（熊谷邦千加） 日程の第6、議案審議。

これより、議案の審議に入ります。

議案第37号 学校運営協議会委員の任命について

○教育長（熊谷邦千加） 最初に、議案第37号、「学校運営協議会委員の任命について」を議題といたします。

議案の説明をお願いします。

北澤教育センター所長。

○教育センター所長（北澤孝郎） よろしくお願いたします。

それでは、議案第37号ですが、ページが3ページから5ページまでとなります。

こちらは、令和7年度学校運営協議会の委員として、各学園及び各学校長から推薦がございましたので、飯田市学校運営協議会規則第7条第1項の規定により、任命したくご提案申し上げます。

各学校運営協議会委員は、記載の一覧のとおりでございます。

今年度から同規則第3条第1項の規定により、学園ごとに学校運営協議会が設置されます。また、同条第2項の規定により、必要に応じて学園内の学校に協議会を置くことができます。これにより9つの学園と必要であると判断した19の小中学校の学校運営協議会となります。

規則では、特に委員人数の規定はございませんので、各学園、各学校、委員の数は異なりまして、各ページの左側の括弧の中に記してありますその人数となっております。

全体では、延べ489人。ちなみにですが、そのうち女性が132人で女性の比率は27%という状況でございます。それから再任・新任の別ですが、再任が295名で約40%といった状況であります。

任期につきましては、同規則第9条第1項の規定で1年間となります。

説明は以上となります。よろしくお願いいたします。

○教育長（熊谷邦千加） この件につきまして、質疑はございませんか。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） ご異議はございますか。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） ご異議なしと認めます。

では、議案第37号の採決をお諮りいたしますが、原案のとおり決定するというご異議ございませんか。

（「異議なし」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） ご異議なしと認め、議案第37号は、原案のとおり決定をいたしました。

議案第38号 学園長、副学園長の任命について

○教育長（熊谷邦千加） 続いて議案第38号、「学園長、副学園長の任命について」を議題といたします。

議案の説明をお願いします。

北澤教育センター所長。

○教育センター所長（北澤孝郎） では、議案第38号についてよろしくお願いいたします。

ページが6ページ・7ページになります。

提案理由ですが、令和7年度飯田学園構想の始まりに当たり、飯田市中学校併設型小学校及び小学校併設型中学校における小中一貫教育に関する規則第4条第2項及び第5条第2項の規定により、教育長の指名に基づき任命したいとするものです。

各学園の学園長、副学園長は記載の一覧のとおりでございます。

任期につきましては、特に規定はございませんが、それは複数年務めることができるということも意味しております。しかし、人事異動がありますので、基本的には1年を単位として再任を妨げないとし、今後、学園の小中一貫教育推進会議で推薦した学校長を教育長が指名し、教育委員会が任命するということになってまいります。

説明は以上になります。よろしくお願ひいたします。

○教育長（熊谷邦千加） この件につきまして、質疑はございませんでしょうか。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） 何かご発言はございますか。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） それでは、議案第38号を採決いたします。

お諮りいたしますが、本案を、原案のとおり決定することにご異議はございませんか。

（「異議なし」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） ご異議なしと認めます。

よって、議案第38号は、原案のとおり決定をされました。

議案第39号 学校歯科医の任命について

○教育長（熊谷邦千加） 次に、議案第39号、「学校歯科医の任命について」を議題といたします。

議案の説明をお願いします。

伊藤学校教育課長。

○学校教育課長（伊藤 寿） それでは、学校歯科医の任命についてご説明をいたします。

学校保健安全法第23条第2項及び同条第3項に基づきまして、川路小学校、三穂小学校及び竜峡中学校の学校歯科医として、片桐信親氏を任命したいとするものでございます。

提案理由は、一般社団法人飯田下伊那歯科医師会から、学校歯科医の適任者として推薦があったため、令和7年4月1日付で任命したいとするものでございます。

説明は以上でございます。

○教育長（熊谷邦千加） ただいまの説明につきまして、質疑、ご発言等はございますか。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） それでは、議案第39号を採決いたします。

本案を、原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」との声あり)

○教育長(熊谷邦千加) ご異議なしと認めます。

よって、議案第39号は、原案のとおり決定をされました。

議案第40号 学校薬剤師の任命について

○教育長(熊谷邦千加) 次に、議案第40号、「学校薬剤師の任命について」を議題といたします。

議案の説明をお願いします。

伊藤学校教育課長。

○学校教育課長(伊藤 寿) それでは、学校薬剤師の任命について、ご説明をさせていただきます。

学校保健安全法第23条第2項及び同条第3項に基づき、龍江小学校の学校薬剤師として池戸克明氏を任命したいとするものでございます。

提案理由は、一般社団法人飯田下伊那薬剤師会から、学校薬剤師の交代による適任者として推薦があったため、令和7年4月1日付で任命したいとするものでございます。

説明は以上です。

○教育長(熊谷邦千加) この件につきまして、質疑、ご発言がありましたらお願いします。

(「ありません」との声あり)

○教育長(熊谷邦千加) 質疑なしと認めます。

それでは、議案第40号を採決いたします。

お諮りいたしますが、本案を原案のとおり決定することにご異議はございませんか。

(「異議なし」との声あり)

○教育長(熊谷邦千加) ご異議なしと認めます。

よって、議案第40号は、原案のとおり決定をされました。

議案第41号 共同調理場管理者の任命について

○教育長(熊谷邦千加) 次めくっていただいて、議案第41号、「共同調理場管理者の任命について」を議題といたします。

議案の説明をお願いします。

伊藤学校教育課長。

○学校教育課長(伊藤 寿) それでは、共同調理場管理者の任命について、ご説明いたします。

飯田市学校給食共同調理場管理規則第3条の規定に基づき、学校教育課長を管理者とし

て任命いただいております。

4月1日付、飯田市人事異動に伴いまして、記載のとおり変更したいとするものでございます。

任期につきましては、令和7年4月1日から学校教育課長の在任中となります。

説明は以上でございます。

○教育長（熊谷邦千加） この件につきまして、質疑、ご発言はございませんか。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） それでは、議案第41号を採決いたします。

本案を、原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） ご異議なしと認めます。

よって、議案第41号は、原案のとおり決定をされました。

議案第42号 飯田市公民館長の任命について

○教育長（熊谷邦千加） 次に、議案第42号、「飯田市公民館長の任命について」を議題といたします。

議案の説明をお願いします。

小林飯田市公民館副館長。

○市公民館副館長（小林和弘） この4月1日より、飯田市公民館の副館長になりました小林と申します。よろしくお願いたします。

それでは、議案の説明をさせていただきます。

議案第42号、飯田市公民館長の任命について、社会教育法第28条の規定によりまして、伊賀良公民館、山下正康氏を飯田市公民館長に任命したく推薦をさせていただくものであります。

提案理由といたしまして、飯田市公民館長の辞任に伴い、任期は飯田市公民館条例第4条第2項の規定により、令和7年4月9日から令和9年3月31日までとして推薦を上程させていただきます。

説明は以上です。

○教育長（熊谷邦千加） この件につきまして、質疑、ご発言がありますか。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） それでは、議案第42号の採決をいたします。

本案を、原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」との声あり)

○教育長(熊谷邦千加) ご異議なしと認めます。

よって、議案第42号は、原案のとおり決定をされました。

それでは次の日程に進みます。

日程第7 協議事項

○教育長(熊谷邦千加) 日程第7、「協議事項」。

本日は、協議事項はございませんので、次へ進みます。

日程第8 陳情審議

○教育長(熊谷邦千加) 日程第8、「陳情審議」。

本日の陳情審議はございませんので、次の日程に進みます。

日程第9 その他

○教育長(熊谷邦千加) 日程第9、「その他」。

(1) 教育委員報告事項

○教育長(熊谷邦千加) (1)「教育委員報告事項」。

それでは、職務代理者、教育委員の皆様方からご報告がありましたら挙手をしていただき、ご発言いただければと思います。

麦島教育委員。

○教育委員(麦島真理子) 私の活動報告を2件お伝えさせていただきます。

1つ目は3月17日、丸山小学校の卒業式に行っていました。

告辞文の内容の中で、後日ではありますが、「地域の方に向けた言葉がなかったのが残念でした」というご意見ご指摘をいただきました。

私も振り返ってみると、学校及び地域の活動に積極的に関わってくださっているご来賓席の皆様に向けて、「ご来賓の皆様におかれましては、公私ともご多用の折、ご臨席を賜り、ご光彩を添えていただきまして誠にありがとうございます」という言葉で感謝をお伝えさせていただきました。一方、入学式では、地域関係者の皆様に向け、「日頃の感謝と一層の

ご支援をお願いする」言葉をお伝えすることができました。

もちろん卒業式と入学式で文面とかニュアンスは違うと思いますが、今後、地育力を育む教育、より地域と連携して教育活動を行っていく上で、そのような声があったことを踏まえてご検討いただければ幸いです。

2つ目は、3月29日、美博学芸祭2025ポスター展示の見学に行っていました。

私も初めて見させていただきましたが、自然や人文、考古、美術の分野において19の研究発表がポスター展示されており、それぞれの内容はとても専門性が高くて難しい印象を受けましたが、学芸員さんや研究員さんの方々の調査・研究活動の成果や過程が一枚の用紙に簡潔にまとめられており、さらに手元の要旨集を見ながら理解に努めて新しい発見や学びの機会となりました。また、このような調査・研究がされている上で、展示室の作品や資料が収集・整理・展示されていることを知るよい機会となりました。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） ありがとうございます。

続いていかがでしょうか。

野澤教育委員。

○教育委員（野澤稔弘） 私も卒業式と入学式と参加させていただきました。

卒業式は上郷小学校と遠山中学校だったと思います。マンモス校と非常に生徒数の少ない中学校と行ってまいりまして、中学校が7名だったかな、卒業されたのは。初めて会う子どもたちだったんですが、卒業式の間中ずっと見ているとそれぞれ一人一人がどんなお子さんなのかなってというのはなんとなく想像できるすごい温かい卒業式だなと思った反面、上郷小学校は多いな人が、と思いました。小学校はそんな感じでした。

入学式はどちらも竜丘小学校と緑ヶ丘中学校だったんですが、同じ日だったので、桜がすごくいい状況の中で入学式だったので、世の中、アメリカとかに合わせて入学の始まりを秋の9月とか10月に合わせたらみたいな議論もあるかと思うんですが、やっぱり日本は桜があるから4月がいいなというふうに思いました。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） ありがとうございます。

さらにございますか。

林教育委員さん。

○教育委員（林 綾子） 私も卒業式の報告ですが、3月14日川路小、それから3月18日松尾小に参加しました。規模は違いますが、それぞれに心のこもった式で、6年間の締めくく

りにふさわしい感動的な内容でありました。

特に川路小のほうでは、どちらかという小さいほうだと思うんですが、教員の皆さんが歌を歌ってくださって、私自身が保護者として出たときにそういった経験がなかったものですから、非常に感動してしまいまして、全然当事者じゃないのに一人もう本当に感激してまいりました。

あと、4月4日の日は、教育委員としては出られませんでした。自分の子どもの入学式として下平文化財保護活用課長さんのごあいさつを聞かせていただきました。

ちょっと残念ながらマイクがあんまり調子が悪かったようで、本当に残念なんです。ちょっと全体があんまりよく聞こえなかったんですが、学園の始まりということを感じさせていただくあいさつだったなというふうに思います。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） ありがとうございます。

北澤職務代理。

○教育長職務代理者（北澤正光） 同じ話ですが、卒業式のほう、緑ヶ丘中学校と鼎小に行かせていただきました。

どちらも大人数の学校で、特に緑ヶ丘中では、卒業生が200何人というような子どもたちの数が多い状況でしたが、本当に厳粛な、この人数でこれだけきちっと動けるといのはすごいなあと思いながら見てきました。特に卒業生の中に一人、相撲部屋に入門するお子さんがいて、もう既に東京に行っていたのに、この卒業式のために戻ってきたということでした。彼だけは和服で、お相撲さんの着物で参加していましたが、非常に堂々とした態度で参加していて、社会へもう一歩先に出ているんだが、頑張っしてほしいなという思いで見えてきました。

そんな厳粛な卒業式とは変わって、入学式は上郷小と高陵中に行かせてもらいました。なんとなく雰囲気は厳粛さというよりも新しい出会いの不安とか、それから新しい学年が始まるその期待感といった雰囲気が会場から感じられる。保護者の皆さんの様子を見ていても、卒業式のときは保護者の皆さんも非常にきちっとして雰囲気をつくってくれていましたが、入学式のほうは不安の中にも和やかさっていうんですかね、そのようなものがあって、たった半月ばかりの間の学校の儀式なんだけれど、こんなにも雰囲気が違うんだなって、季節の流れもあるかもしれないがそんなことを感じました。

そんな中で、上郷小学校の今年の新生が73名なんですね。座光寺小学校のほうにいくと23名というので、両方足しても96名にしかならない。その子たちがいずれ高陵中学に

進学してくるわけですが、高陵中のほうは今年の入学生が 160 人と聞いていますので、数年後にはその 160 人の新入生がこのままいくと 96 人、100 人を切ってしまうという人数になる。まさにこの少子化の話のことを、比較的大規模な高陵学区でさえ直面していく問題なんだということは改めて感じました。

それからもう 1 点は、上郷児童クラブが上郷小学校の校舎の中に建物が新しくできて開所するというので、その開所式のほうも出させていただきました。

今年 124 名が児童クラブを利用するというので、職員の皆さん、たった 11 名、館長も入れて 12 名なのですが、あの人数を午後支援していくというのはなかなかだなど。学校の場合は結構組織だって動いていくから、学年ごとに割れているのでいいのですが、児童クラブの中には異年齢の子たちが混ざり合っている状況の大人数を支援していくというのは、なかなか支援員の皆さんも大変だなども思いながら。ただ、校舎の中にできたことで交通事故等の心配はなくなり、学校施設の図書館とか校庭とかいろいろ利用できる。

それで館長さんにお聞きしたら、新しく改装された理科室も放課後は貸していただけることになって、そっち側でも子どもたちが分散して児童クラブとして使えるというようなお話も聞きましたので、非常にそういう点ではよかったなというふうに思って参加してきました。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） ありがとうございます。

今、委員の皆さん方からご報告をいただきましたが、何かご質問やご発言がありましたら。よろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○教育長（熊谷邦千加） 大事な節目になっていたなということも思いますし、しかし学校によってそれぞれの味があり、取組があるんだなということもご報告いただいて理解をいたしました。ありがとうございます。

それでは次の報告事項にまいります。

（2）教育次長報告事項

○教育長（熊谷邦千加） （2）「教育次長報告事項」。

秦野教育次長。

○教育次長（秦野高彦） 報告事項はございませんが、今年も 1 年間、教育次長として務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。秦野でございます。よろしくお願いし

ます。

以上でございます。

(3) 教育政策課関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして（3）教育政策課関係報告事項。

上沼教育政策課長。

○教育政策課長（上沼昭彦） この4月1日付で新たに設置をされました教育政策課長を拝命いたしました上沼でございます。公民館からの異動であります。引き続きお世話になります。よろしくお願いいたします。

私からは報告事項といたしまして、飯田市これからの学校のあり方審議会について、先日3月24日に令和6年度第6回目の審議会が開催されましたので、その概要を報告させていただきます。資料は、本日お配りさせていただきました「令和7年3月24日、第6回審議会資料2-1、飯田学園構想の推進について」の資料になります。

この第6回の審議会ですが、4月からスタートをいたします飯田学園構想の開始に向けた状況報告、また、2次方針の検討に向けた基本的な考え方についてご協議をいただいております。

お配りした資料の1ページ・2ページになりますが、学園構想を推進していく上での考え方や体制を示した資料となっております。

1ページにおいては、学校の名称の考え方、学園に正副学園長を置くこと、学園における推進組織として学園学校運営協議会を設置し、学園における目指すこども像、ランドデザイン、学園運営の基本方針の協議や承認を行うこと、学園小中一貫教育推進会議を開催し、学園における小中一貫教育も進めていくこと、特設教科カリキュラム検討委員会を設置し、特設教科である「みらい創造科」のカリキュラムづくりや授業実践につなげていくことなどを確認しております。

資料少し飛びまして5ページを御覧ください。

ここからは、第2次方針の検討における基本的な考え方に関する資料となります。これからの学校のあり方についての基本方針の策定に当たりましては、学校の配置・枠組みと、特色と魅力ある学校づくりの2点について審議会で審議・提言をいただいております。

また、資料7ページになりますが、第1次方針における基本的な考え方や学園構想の目的、学園構想で取り組む特色ある学び、学園における仕組み等について確認をいただいております。

資料1枚めくっていただいて8ページとなります。

こちらが第2次方針の検討における基本的な考え方としての事務局案の資料でございます。第1次方針である「飯田学園構想」による特色ある学びを進めていくことのできる環境を目指すこと第一といたしまして、学園内の学校施設の配置に関する検討を、こちら①～⑤と記載しておりますが、この5つの基本的な考え方をもって検討を進めていきたいと考えていること、また、児童生徒の学習環境の充実に向けては、児童生徒数の面から見た学習環境と学校施設の面から見た学習環境の2つの側面で考えていきたい旨を説明いたしまして、委員の皆様から様々なご意見等をいただいているところでございます。

なお、当審議会は2年任期となりますので、令和6年度をもって一つの区切りとなります。今年度は、新たに市民会議を設置いたしまして、いただいた意見等を踏まえつつ、第2次方針の検討を進めてまいります。

現在、事務局におきまして、審議会の委員の構成ですとか、2次方針に向けた検討の進め方などを検討している状況でございます。

今後も教育委員の皆様とは情報等を共有しながら、検討を進めてまいりたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願いたします。

私からは、以上でございます。

○教育長（熊谷邦千加） ただいまの報告について、ご質問ご発言がありましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○教育長（熊谷邦千加） また、追々報告してまいりますので、何かご質問等あったら遠慮なくご発言をいただければと思います。

（4）学校教育課関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして（4）「学校教育課関係報告事項」お願いします。

伊藤学校教育課長。

○学校教育課長（伊藤 寿） 私も4月1日から学校教育課長としてお世話になっております伊藤と申します。よろしくお願いをいたします。

私のほうから4月7日に竜丘小学校で発生いたしました学校給食の異物混入事案につきましてご報告をさせていただきたいと思っております。

まず、学校が異物混入を確認した日時につきましては、4月7日月曜日の13時5分頃、

発生場所は5年2組の教室で、事案の内容につきましては、給食で提供された磯香和えの中に長さ1センチほどのネジが入っていることを児童が食べている最中に気がついたもので、当該児童に健康被害はございませんでした。

昨日プレスリリースを行うとともに、竜丘小学校児童の保護者に対しまして「テトル」にて報告をさせていただいたところでございます。

異物混入の経緯については調査中でございますが、ネジの形状から児童が使用する学習用端末から脱落したネジである可能性が高く、配膳から喫食の過程で混入した可能性があります。学習用端末につきましては、全ての小中学校で使用しているため、給食への異物混入事案の適切な対応に加えまして、学習用端末のネジの確認につきまして、本日全ての小中学校へメールで配信したところでございます。

今後このようなことが発生しないよう、調理場での調理作業工程での確認をはじめ、納入業者への流通過程での異物混入の確認、学校での対応について徹底してまいりたいと思っております。

学校での対応につきましては、今月開催されます校長会・教頭会でも説明をしてまいりたいと思っております。

学校教育課からの報告は、以上でございます。

○教育長（熊谷邦千加） ただいまの報告につきまして、質問、ご発言がありましたらお願いいたします。

北澤職務代理。

○教育長職務代理者（北澤正光） 4月7日ということなので、今年度1回目の給食で起こったということだと思うのですが、しかも5年生で5年2組、竜丘小がクラス替えがあるかどうかちょっと私分らないのですが、もしクラス替え等もしているというような状況であれば、全く新しい人間関係の中の1日目の給食のところで事が起きているということなのですが、子どもたちの混乱の様子という言い方は変ですが、クラスの中の雰囲気は、どんなふうになっているのかなというのが心配です。新年度始まって1回目の給食の、本当にクラスもスタートするという最初のところでのこういうことなので、何か人間関係みたいなところで、誰が入れたんだとか疑心暗鬼みたいなので人間関係がちょっと崩れないか。お互いに疑心暗鬼になるようなことがあると気の毒だなと思うので、もし分かればそのクラスのそんな子どもたちの雰囲気とか、状況はどんなのでしょうか。

○教育長（熊谷邦千加） 伊藤学校教育課長。

○学校教育課長（伊藤 寿） ただいまご質問のありました件につきましては、まずクラス替え

がありましたクラスでございます。担任の先生も新たに來られた先生、クラス替えもあつたというまさに一番最初の初日の給食の中での事案ということでございます。

そのときの対応につきましては、これは本来でありますと、金属類については入っていた場合については、まず給食を食べさせないようにというような対応が本来ではございますが、実際には児童が担任に申し出て、ほかには影響がないというようなことで、そのまま給食に関しては、食したといったような実態がございます。

この点につきましては、長野県の学校給食の定義によります対応とはちょっと異なる対応であったものですから、本日配信させていただいたメールでもその旨は共有させていただき、今後も校長会・教頭会では説明をして徹底してまいりたいと思っております。

先ほど職務代理からご質問がありました雰囲気等クラスの様子につきましては、そのまま報告をして食べ続けたというようなことで、特段大きな混乱はなかったというふう聞いております。

ただ、実際には昨日、保護者の皆様に対しまして、「テトル」にて報告をさせていただきましたので、本日、様子までは私のほうでちょっと確認はできておりませんが、またその様子につきましては、校長先生にも連絡をさせていただいて、確認させていただき、またご報告させていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

○教育長（熊谷邦千加） さらにご発言がございましたら。

よろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○教育長（熊谷邦千加） ありがとうございます。

では、次に進みます。

（５）教育センター関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） （５）「教育センター関係報告事項」。

北澤教育センター所長。

○教育センター所長（北澤孝郎） よろしく願いいたします。

お手元の資料の中にカラーのA4版横型のホッチキス留めのものがございますので、そちらを御覧ください。

新設の機関として、こんなことを大事にこんなふうに進めていきたいところ報告させていただきたいと思っております。

お手元の資料ですが、構成としましては、上に飯田市教育ビジョン、そして振興基本計

画の後期重点目標というところから記載させていただいております。

これらを基に学園構想がスタートしております。「9つの学園を今よりもっと通いたい・通わせたい学校へ！」。

そして、そんな中、学園をどう支えていくかということで、このセンターにつきましては学園や学校、児童生徒、そして保護者を支援していくという立場になろうかと思いません。

そうしますとこのセンターの役割ですが、実は後期計画のこの重点の①「『ムトスの学び』を実践し、豊かな心とこれからを生きる力を育む」、ここに関わりまして星印が2つございます。この星印2つがまさにセンターの役割であると思っております。「一人ひとりが主体的に学ぶ、『児童生徒』が主語になる学びを進めましょう。」「多様性を包み込み、誰もが安心して学べる環境をつくりましょう。」。そのために、「このような支援をします」ということで、特に太字で強調させていただいておりますが、このような8つの点について、主に具体的な支援をしていきたいと思っております。

ページをおめくりください。

具体の事業となりますと、左側のラインボックスのところになろうかと思えます。そのほか、組織と職員の配置ですが、先ほどの星印2つに連動しますように、学園支援係と教育相談係を設けております。

学園支援係につきましては、昨年度まで教育支援係だった専門主査、そして県教委から派遣された指導主事、これはウェルビーイング実践校ということで飯田市教委へ派遣された職員であります。等々、あと教育相談係のほうは、同じく昨年度、教育支援係だった専門主査、そして教育支援指導主事統括、あと教育相談員をこの係のほうに入れ、あと市役所の職員の方々をこのように配置しております。

主担当は決めてはありますが、最初にありました太字のところを重点的に支援していくために、このセンター全体で支援していくところを基本としていきたいと思っております。

次のページになります。

どのように学校を支えていくかっていうところ考えまして、最後の教育センター所長メッセージというところを、こんなふうを考えさせていただきました。「この度、教育センターを創設し、先生方が新たな挑戦をするためのサポート体制を整えました。教育センターは先生方の『こんな授業をやってみたい』、『認めあい支え合う仲間づくりをしたい』、『地域の良さを活かした活動をしたい』という『先生方のムトス』を全力で応援します。先生

方の熱意と創意工夫が、子どもたちの未来をひらく力となります。共に力を合わせて、一歩、新たな挑戦に踏み出しましょう。」。

現在まだ始まって一週間ほどなのですが、今年度、既にセンター会を開き、どんな方向で具体的に支援をしていくかということの連絡を取り合いながら、今ちょうど計画を立てておるところであります。

進めていく上で、様々な皆様からご指導いただきながら、センターとして存在感のあるものにしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

以上であります。

○教育長（熊谷邦千加） ただいまの説明、報告につきまして、ご発言がございましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。

（発言する者なし）

（6）生涯学習・スポーツ課関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） では続きまして（6）「生涯学習・スポーツ課関係報告事項」。

後藤生涯学習・スポーツ課長。

○生涯学習・スポーツ課長（後藤武志） 昨年度に引き続きまして、生涯学習スポーツ課長を務めさせていただきます後藤でございます。

今年度から国民スポーツ大会推進室長を兼ねるということで、そちらのほうの仕事もさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

本日の報告事項は特にございませんが、4月の26・27日にやまびこマーチを予定しておりますので、ご承知おきいただければと思います。

よろしくお願いいたします。

（7）文化財保護活用課関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして（7）番、「文化財保護活用課関係報告事項」。

下平文化財保護活用課長。

○文化財保護活用課長兼考古博物館長（下平博行） 引き続きまして、文化財保護活用課長を務めます下平でございます。よろしくお願いいたします。

報告事項としましては、昨年度より建設を進めております史跡恒川官衙遺跡のガイダンス施設、恒川歴史交流館とありますが、そちらの建設工事が、建物がようやくできました。

今年度から来年度にかけまして、中身、魂を入れていく作業進めてまいりますので、よろしくお願いたします。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

（8）公民館関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） では続きまして（8）「公民館関係報告事項」。

小林飯田市公民館副館長。

○公民館副館長（小林和弘） すみません、お手元の資料を御覧いただけますでしょうか。令和7年度飯田市の公民館活動 基本方針・事業計画書、左上ホッチキス留めの2枚になります。

飯田市の公民館ですが、昨日令和7年度に入りまして、20 地区公民館館長、また公民館主事と会議をさせていただきまして、それぞれの課会、また合同会議等の場で令和7年度飯田市の公民館活動基本方針・事業計画のほうを最終確認させていただいたところであります。

基本方針・事業計画につきましては、全公民館が公民館活動を実施する上での公民館の担う役割、また重点目標などを共有し、この方針に基づきながら、各館事業等を計画・推進していくために、毎年度策定をさせていただいているものであります。

資料の1番の「公民館の目的」という中の中段になりますが、本年度につきましては、飯田市では、「いいだ未来デザイン 2028」後期計画の初年度に当たりまして、基本目標1において、「市民が将来にわたり地域に愛着や誇りを持てるまちづくり」を、また「第2次飯田市教育振興基本計画」の重点目標におきましても「多様な学びや交流を通じて、共感の輪を広げ、輝きやうるおいのある地域をつくる人を育む」ことを大切な目標として掲げております。

こういった点を踏まえまして2番の「公民館の役割」、ここの中段になりますが、地域に着目した学習と交流を深め、「みつける つながる 育てる 実現する場」として機能し、暮らしの場の中で住民同士の良好な関係性を育み、自身の願いや関心事がみんなの実現したいこととなり、「ハマコミるサイクル」が展開される学習活動を推進します、こういった部分の確認をさせていただきました。

また、3番、「令和7年度の重点目標・事業計画」ですが、今ご説明をさせていただきました「ハマコミるサイクル」、こういった点を踏まえまして、日常生活の中に「みんなの楽しい！大事！！」を生み出そう、こういった点で「楽しそう、面白そう」を入り口に住民が集い、地域への願いや関心事を対話し、学びを通じて仲間と共有し、実現に向けて取り

組むことで、達成感や楽しさ、地域への役割が実感できるよう公民館活動を実施していきます。日常生活の中に、「みんなの楽しい」を生み出すことで、住民同士の良好な関係性を育み、暮らしを営む場・地域をみんなで考えあい、未来へ紡いでいけるよう支援します。こういった点を重点目標・事業計画とさせていただき、昨日確認をさせていただきました。

ページをおめくりいただきまして1枚目の裏面になりますが、今お話しさせていただきました「みんなの楽しい！大事！！」、また「ハマコミるサイクル」こういった点につきまして、お手元の資料の下段になりますが、カラーの部分「ハマコミるサイクル」こういった点を毎年でありますと公民館の基本方針・事業計画、こういったイラスト的なものは入っておらず、文章での基本方針・事業計画でありましたが、今年度後期計画がスタートする中、また基本目標1、こういったところを鑑みまして、少し可視化できたらというところで、イラスト的な部分を挿入させていただいております。

資料のほう、2ページ目になりますが、1ページ目でご説明をさせていただきました、公民館の目的、また役割、重点目標・事業計画、こういった部分につきまして、2枚目の1枚になりますが、全体をこの1枚にまとめさせていただきながら、「楽しい」、「みんなの楽しい！」、また「大事！！」、こういった部分を各20地区の公民館でも、委員の皆様にもご確認をいただけるように今年度はこの計画についてこういったイラスト、こういったものを活用させていただきまして、重点目標・事業計画、こういったところを昨日確認させていただきました。

この後になりますが、各20地区公民館におきまして、年度当初の総会、また各委員会での会議等、こういったところで本日御覧いただいておりますこの資料につきまして、全体で共有をしていただきながら、今年度の公民館活動を進めてまいりたいというところ、昨日確認させていただきました。

以上、公民館活動基本方針・事業計画の報告とさせていただきます。よろしく申し上げます。

○教育長（熊谷邦千加） ただいまの報告につきまして、ご発言がございましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○教育長（熊谷邦千加） はい。

協議会を含めて1時間ほどたちましたので、ちょっと休憩を入れたいと思います。

毎回いつも休憩を入れなきゃと思いながら忘れておりましたので、スタートは5分後く

らいにと思いますので、ちょっとお休みください。

休 憩 午後 3時53分

再 開 午後 4時00分

○教育長（熊谷邦千加） それでは、一応5分くらいたちましたので、再開をさせていただきます。

（9）文化会館関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） では続きまして（9）番、「文化会館関係報告事項」。

筒井文化会館館長。

○文化会館館長兼新文化会館整備室長（筒井文彦） 今年度も引き続き文化会館館長、兼ねて新文化会館整備室長を務めさせていただきます筒井です。よろしくお願いいたします。

文化会館関係といたしまして、4点ほど報告をさせていただきます。

まず、（ア）のフレッシュコンサートに関しまして、お手元に緑色っぽい字のチラシがあるかと思しますので、御覧いただきたいと思います。「フレッシュコンサート」と書いたチラシになります。

文化会館と市民の実行委員会であるコンサート・ア・ラ・カルトプロジェクトが主催ということで定期的に行っておりますが、毎年春先にこの「フレッシュコンサート」と名をつけましてコンサート行っております。本年度は5月25日に人形劇場で開場が午後1時、開演が1時半からということでございます。地元で活躍されている演奏家の皆さんのコンサートということでございまして、ここに書いてあります出演の皆さんということなんですが、多くはこの飯田下伊那で、例えば学校の先生ですとか地元の飯田交響楽団の有志の皆さんとかであるということで、比較的地元に根ざした活動、または学校の関係で異動されてきてこの地域で活躍をされている先生方という方をお願いしたということでございます。

こちらチケット代も500円ということで、比較的に入っていただきやすい金額設定になっておりますので、ぜひお越しいただければと思っております。

続いて（イ）の人形劇定期公演4月の部でございます。毎月この人形劇の定期公演についてご案内をしております。

4月13日午後1時半からです。よく午前中にやることも多いんですが、4月に関しまし

ては午後1時半開演ということでございます。

今年度から金額のほうは300円をいただくことになっておりますが、今回、上演団体3団体ということで、1点、真ん中の人形劇団が変更になります。今回は一番上の三穂の「伊豆木人形クラブ」の三番叟と真ん中のところが変更になりまして、座光寺の「竹の子会」、竹田人形座を引き継いで練習していただいている「竹の子会」の皆さん。3番目が飯田短期大学「子ども文化研究会」の劇団の皆さんということで、今回この3団体とも地元を拠点に活動されておるということで、特に「伊豆木人形クラブ」に関しましては、今田人形座の皆さんから稽古といたしますか練習を受けて、地元の小学生から大人までの皆さん、地域の皆さんがこの「伊豆木人形クラブ」として活動をされているということでございますので、ぜひ御覧いただければと思います。

続きまして（ウ）の白黒のチラシでございますが、川本喜八郎人形美術館の企画展でございます。

以前にもお伝えしておりますが、今年、川本喜八郎先生の生誕100年ということで、人形美術館といたしましても企画展をいろんな形で計画しておりまして、4月から8月にかけて、川本喜八郎が影響を受けた人形アニメーション作家という形で企画展を行うことになっております。

また、トークイベントといたしましては、4月26日にアニメーションの形で非常に関わりのある川本喜八郎氏と親交があった方をお呼びいたしまして、トークイベントを開催するというところでございます。

前期と後期とございますが、いずれにいたしましても、川本喜八郎氏が影響を受けた人形アニメーションに関しての企画展ということでございますので、人形美術館のほうに足を運んでいただけたら幸いです。

続きまして、（エ）の人形劇定期公演は5月ということで、先ほど4月のことをお話ししましたが、5月も日程が決まっております、5月11日、こちらは午前10時半開演ということでございます。

5月の人形劇団は3劇団ということでございまして、こちらも飯田の人形劇フェスタを含めて、飯田に縁のある劇団の皆さんに今回上演をしていただくということでございますので、こちらもぜひ御覧いただければと思います。

最後にすみません、議題には入れてございませんでしたが、3月23日に飯田文化会館で、飯田市と豊丘村が共同で開催いたしました「グリムspanキー」の南信州凱旋ライブに関しまして、若干報告をさせていただきたいと思っております。

委員の皆さんには、当日のパフレットの白黒のコピーを配布してございますが、既に新聞ですとかテレビで報道をされておりますので、御覧いただいたと思います。今回約 100 人の実行委員会という中で、特に高校生が 30 人以上、地元の高校生が参加をいただき、自分たちがやりたいことを企画していただいたということでございます。

今日、カラーの写真が真ん中に写っている実行委員の皆さんの黄色いTシャツを着た資料も入れてございますが、ここ数日の中で市長が少し感想を飯田市職員向けに出していただきましたので、そこを少し紹介させていただいております。実際、凱旋ライブの当日には、お二人が飯田下伊那の出身ということで地元につわるお話をしていただいたということがあったんですが、なんと郡音、飯田下伊那のこどもたちにとっては馴染みのある郡市連合音楽祭の話から「下伊那の歌」ということに話題がいきまして、会場で即興で下伊那の歌を歌っていただいたということがありました。

さらには、前日に実はシークレットライブということで地元の高校生の皆さんが、この「グリムspanキー」の 2 人を迎えるというライブをしていただいたわけなんですけど、その皆さんが企画運営に関しましても非常に情熱的に関わり、演奏をしていただきました。本当はこの場も教育委員の皆さんに参加いただきたかったんですが、ちょっとマネジメント会社ですとか、報道機関のこともありましてシークレットライブということで開催していただきましたが、その企画も非常に素晴らしいことになったということで、市長のほうも感想を書いているということでもあります。

さらには、ライブの翌日に、長野朝日放送の密着取材があったんですが、「グリムspanキー」のお二人がこの飯田下伊那の地を巡るという中に、飯田の中央図書館も取材先といえますか縁のあるところということで、そこでは松尾レミさんが絵本に関して非常に熱く語っていただいたということがございます。放送では本当一部だけだったんですが、実は 1 時間半以上図書館に滞在をされて、非常に事細かに図書館の中のコーナーも言っていたということで、そのことも一部放送をされまして、放送の中には出なかったんですが、「『グリム』という名前も実はこの中央図書館から生まれたんです」というようなことも話していただきましたので、今後、そういったことも職員の中に伝えながら、市民の皆さんへもそういったことを伝えていきたいと思っております。

さらに放送にはならなかったんですが、その行く道中、追手町小学校ですとか美術博物館っていうようなところも、非常に馴染みといたしますか松尾レミさんからすると飯田下伊那の中で聖地の一つであるということで、テレビ局の皆さんに熱心に語っていただいたということがありますので、こういったことも私たちも大変ありがたいことでもあります。

で、文化事業に生かしていきたいというふうに思っております。

長くなりましたが、以上でございます。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

(10) 図書館関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続けて（10）へまいります。「図書館関係報告事項」。

瀧本中央図書館館長。

○中央図書館長（瀧本明子） 引き続き、中央図書館長を務めさせていただきます瀧本です。この4月1日から副参事を拝命いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

図書館からは2件報告をお願いします。

本日お配りさせていただいた緑色のほうの紙を先に御覧ください。中央図書館開館 110周年記念事業のご案内です。大正4年に中央図書館が町の図書館として開館しました。今年度 110周年を迎えますので記念事業を行います。図書館をより多くの方に利用していただいたり、また図書館が、人が交流したり活動したりする場ともなるように取り組んでいきたいと思っております。

このチラシに記載してございますように、1年間様々な記念イベントを行います。「としょかんマルシェ」につきましては、現在、出展の募集を始めております。個人や団体の方で図書館を会場にやってみたいという企画を集めて開催する予定です。

また110年の歴史を振り返るあゆみ展、それからシンポジウムを行います。

下に書いてあります「よむとす」につきましては、現在毎月2回、図書館職員がウェブサイトと南信州新聞で本の紹介をしておりますが、こちらについて職員以外にも本を紹介したいという方を募って、紹介していただくということを企画しております。また、図書館のPR動画をつくります。より多くの方に使っていただきたいということで、こちらは飯田コアカレッジの探究学習で学生さんたちにご協力をいただいでつくる予定です。

本の紹介という点では、先ほどの筒井館長から「『グリムspanキー』の松尾レミさんが図書館を非常に使ってくださっていた」という話を紹介いただきましたが、おいでいただいたときに、お母さんに連れられて本当に小さいときから、しょっちゅう図書館に来てくださっていたというお話をさせていただきました。

さっきの紙の中に『せいめいのれきし』というバージニア・リー・バートンという、『ちいさいおうち』などを書かれた方の本を紹介して下さったことが書いてあるんですが、「この本、今、子どもたちにあまり手に取られないんです」という話をしたところ、「え、

そうなの。それはもったいない」とおっしゃって、「たくさん紹介したい本がある」とのことだったので、「110周年に合わせて、松尾レミさんの紹介コーナーをつくらせていただけないか」とお願いしたところ、快く「たくさん紹介させていただきます」とおっしゃっていただきました。110周年事業の中でも本の紹介をさせていただこうと思っております。

この110周年事業は、実行委員会の「いい図書110もりあげ隊」の皆さんと一緒に企画しておりまして準備を進めております。イベントの詳細をまたご紹介させていただきますが、承知をさせていただければと思います。

もう1点ですが、白い半分に折ったカードの紙を御覧いただきたいと思います。こどもの読書週間の図書館事業です。

春休みから始めているところですが、こどもの読書週間を挟んで5月22日まで中央図書館・鼎・上郷・駅前図書館でいろいろなジャンルの本をこどもたちに読んでいただきたいということで、「図書館オールジャンルコンプリートチャレンジ」という取組を行っています。

この表紙のカラーの部分についている絵については、昨年度、駅前図書館で行いました漫画教室で描いていただいた分類キャラクターを載せております。これを使いまして、図書館に様々な本がありますので、このチャレンジをきっかけにいろんな本をこどもたちに興味を持っていただきたいということで行ってまいります。

図書館からは以上です。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

それでは続けて報告のほうを先にお願ひしたいと思ひます。

(11) 美術博物館関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） (11)「美術博物館関係報告事項」。

榎村美術博物館副館長。

○美術博物館副館長（榎村洋介） 引き続き今年度も副館長を務めさせていただきます榎村です。
よろしくお願ひいたします。

美術博物館から1点ございます。5月の「びはくにゅーす」、黄色いチラシでございます。たくさん情報がありますが、そのうちの下段、一番下、5月18日という日がありまして、この日が国際博物館の日と申しまして、世界中の博物館・美術館でイベントが行われるという日でございます。多くの館はこの日が無料開館ということになっていまして、美術博物館も同じようにこの日は無料開館をさせていただきます。

今年の場合は、その前に「田中芳男」という名前を付けます「田中芳男と国際博物館の日」ということで、美術博物館では行わせていただきます。

飯田出身で日本の美術博物館の父と呼ばれる田中芳男さんを敬称するというので、この日を田中芳男の日としていろいろ公開させていただきます。

裏側の右上のところですが、この博物館の日に田中芳男に関する見学会も行わせていただきます。「“日本の博物館の父”田中芳男とりんご並木」ということで、りんご並木を中心に歩いて飯田城下町サポーターの皆さんのご案内で田中芳男に縁のことについてお話していただくという機会がございますので、ご興味ありましたぜひご参加いただければというふうに思います。

また表に戻りますが、「美術博物館」と書いてある欄の4行目になりますが、「文化トピック展示」で「新収蔵品紹介 修復を終えた田中芳男関係資料」ということで、昨年度修復をしました田中芳男さんの子孫の家に伝わりました資料、これを美術博物館にご寄贈いただいているんですが、その修復の済んだものを公開していますので、こちらのほうも御覧いただけたらと思います。

美術博物館からは以上でございます。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

(12) 歴史研究所関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） じゃあ続けて(12)「歴史研究所関係報告事項」。

牧内歴史研究所副所長。

○歴史研究所副所長（牧内 功） それでは、引き続き7年度も歴史研究所副所長を務めます牧内です。よろしく申し上げます。

それでは本日お配りしました歴研ニュース 135号を御覧いただければと思います。こちら書類です、すみません。

表紙につきましては、昨年度2月に承認いただきました歴史研究所の今年度から4年間の中期計画の概要を載せてございます。

開いていただきまして左側のほうは、今年度の人材育成の一環であります、市民研究員の候補者、研究活動助成、あとは飯田歴研賞候補者の募集をしてございます。

3ページ目でございますが、3月に刊行しました『史料で読む 飯田・下伊那の歴史4 満州移民・青少年義勇軍』につきまして刊行したわけでございますが、7年度は、このテーマにつきまして、執筆者3名の方に5月・6月・10月という予定で3回地域史講座を開催

する予定でございます。第1回目としまして5月24日の土曜日に開催します講座につきまして掲載をしております。

あと定例研究会のほか、最終ページですが、2月に刊行しました年報につきまして、ご紹介をしております。

あとは4月・5月の歴研ゼミ、ワークショップについて掲載しております。

また、時間があるところにお目通しいただければと思います。

以上でございます。

○教育長（熊谷邦千加） それではちょっと続けて報告をいただきましたが、休憩後、説明をいただいた文化会館から今の歴史研究所までの報告につきまして、ご質問ご発言がありましたらお願いします。

よろしいでしょうか。

麦島教育委員。

○教育委員（麦島真理子） 中央図書館開館110周年記念事業の一つとして「としょかんマルシェ」っていうものがあるんですが、どのような皆さんからの出展募集ということで、具体的にはどのようなものを企画しているのかももう少し詳しくお願いいたします。

○教育長（熊谷邦千加） 瀧本中央図書館館長。

○中央図書館長（瀧本明子） 現在募集しているところではありますが、今のところ手を挙げていただいているものと、手づくりの絵本をつくっている方たちから製本教室でありますとか、物品販売したいという方も手を挙げていただいています。

今回、物品の販売もありなんですけど、必ずどこの出展の方にも、そのブースというコーナーのところに関連の本も展示させていただくということにしています。

あと「大型紙芝居をやりたい」という方ですとか、「古本交換市のようなものをやりたい」というような声もいただいております。

まだ募集期間がしばらくありますので、募集多数になった場合には実行委員の方と図書館と一緒に、その中から選ばせていただくということも出てくるかと思えます。

現在のところはそういう状況です。

○教育委員（麦島真理子） ありがとうございます。

○教育長（熊谷邦千加） さらにございますか。

よろしいですか。

（発言する者なし）

○教育長（熊谷邦千加） ありがとうございます。

とりあえず、ここまでのところで言いそびれたこととか、質問しそびれたことがありましたら何かご発言がありましたら、全体を通じてでございますが、いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○教育長（熊谷邦千加） ありがとうございます。

では、次に進みます。

(13) 今後の日程について

○教育長（熊谷邦千加） (13)「今後の日程について」。

北澤総務係長。

○総務係長（北澤五月） この4月から総務係長を拝命しました北澤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

定例会会議事項の2ページを御覧ください。今後の日程についてであります。

来週14日月曜日午後2時半から第1回の飯田市校長会が、市役所C棟3階の会議室で行われます。

その翌週23日水曜日ですが、今度は午前9時半から第1回の飯田市教頭会が、こちらも市役所C棟3階の会議室で予定をしております。

5月に入りまして15日木曜日に5月定例会をお願いいたします。定例会は午後3時からを予定しておりますが、また、前段に協議会が入るようでしたらご案内をいたしますので、よろしくお願いいたします。

5月30日金曜日には、長野市のホクト文化ホールにおいて、令和7年度関東甲信越静市町村教育委員会連合会の総会と研修会の連絡が入りました。こちらは1都11県が持ち回りで行っている会議であり、今年度は長野県の当番であるため、研修会含め参加を予定しておりますので、ご予定いただきますようお願いをいたします。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） ただいまの日程の説明につきまして、何かご質問ご意見がありましたらお出してください。

よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○教育長（熊谷邦千加） 4月回数が多くて恐縮ですが、よろしくをお願いいたします。

日程第10 閉会

○教育長（熊谷邦千加） それでは、日程第10、「閉会」。

以上をもちまして本日の日程の全て終了いたします。

日程以外で何かご発言がありましたら。

よろしいですか。

（発言する者なし）

○教育長（熊谷邦千加） では、以上で教育委員会定例会を閉会といたします。

お疲れ様でした。

閉会 午後 4時23分